

1. 中央図書館概要

現在の中央図書館は本学創立45周年記念事業の一環として、昭和45年9月に竣工したものであります。延面積7,340.49㎡、構造的には1階より8階に亘る多層化図書館であります。1階は図書館のアプローチ、2階には館長室、庶務課、収書課があり、3階・4階は学生・教職員の利用に供される開架閲覧室があります。閲覧座席数500、開架図書約5万2,000冊を配架。4階に併設されている雑誌閲覧室には約1,000タイトルの和・洋雑誌が配架されています。3階フロアーには、貸出手続の為のカウンター、利用者へのレファレンスを行なう参考業務係、それに閲覧係事務室があり、5階には教職員・大学院生専用の閲覧室を設けています。6階は購入・寄贈を含め年間5万冊を超える和洋図書・雑誌の整理を行なう整理課の他、マイクロセンター、広報課があります。

また、5階から8階迄には、6層の積層書庫の他、参考図書や地方誌を集めた書庫、貴重書を集中した書庫も併設され、約53万冊の図書が安全開架式で研究者の利用に供されています。

他に、製本雑誌を集中した雑誌書庫や利用頻度の低い図書を集めた保存書庫もあり、各学部図書室への分置図書を含め、本学の全蔵書数は約81万冊にもなります。

2. 図書館の利用について

本学の図書館は登録制をとっております。図書館を利用するには先ず、閲覧カウンターで登録手続をする必要があります。登録には学生証・身分証明書が必要です。

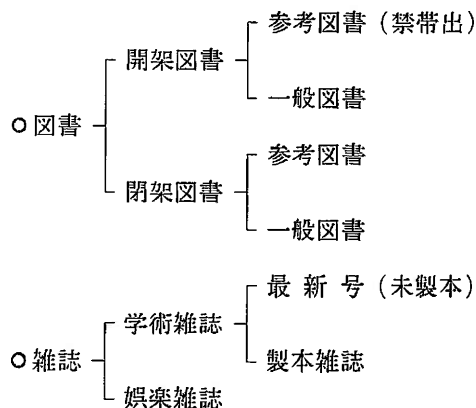
登録に必要な用紙は閲覧室に備え付けてありますので、必要事項を記入し、カウンターで手続きをして下さい。登録を済ませれば、本学の蔵書を自由に閲覧利用することが出来るようになります。

3. 図書の利用について

さて、先にも述べましたが、本学の蔵書は約85万冊の膨大なものです。

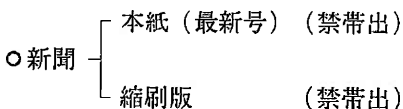
この85万冊の図書の中から自分の必要とする図書を探し出すには、どのようにすれば良いのでしょうか。この方法について簡単に説明しておきます。

図書を利用する前に、まず、図書館の蔵書構成を理解して頂く必要があります。蔵書を資料形態別に分けると下の図の様になります。



※雑誌は全て禁帯出

○ 各大学・研究所の紀要 (禁帯出)



○ 特殊資料 (貴重品・視聴覚資料・マイクロフィルム etc.)

a. 図書は開架図書と閉架図書に分かれます。開架・閉架と云う言葉は耳馴れない言葉だと思いますが、簡単にいうと、開架図書とは利用者が自由に書架に接し、図書を手に取ることが出来るものです。身近な例を取れば、皆さんが書店で図書を選ぶのとほとんど同じ接し方で図書を選ぶことが出来ます。

閉架図書は目録等で請求記号を調べ、請求票に必要事項を記入し、カウンター係員に頼んで書庫内から図書を出納してもらうシステムになっている図書のことで、利用者が直接には書架に接する事が出来ないシステムです。

現在開架図書は約5万2,000冊で、全蔵書の約6%にすぎません。本来もっと多くの図書を、開架図書とするのがより理想的なのですが、現在の図書館スペースの中では、これが精一杯のところですが、但し、図書館も出来るだけの努力は欠かしておらず、近々4,000～

5,000冊の開架図書スペースを増やす計画を持っています。

図書は、通読を目的として作られた一般図書と、何かの時に必要事項を調べる為の辞書・事典・ハンドブック等の参考図書とに分けて配架されています。

開架の参考図書は利用頻度が高い為に、館外への貸し出しは致しません。

但し、一般的に利用頻度の低いものや、複本のあるものは閉架図書扱っていますので、こちらの方は希望があれば、貸し出すことができます。

b. 次に雑誌ですが、学術雑誌や娯楽雑誌の最新号は、4階閲覧室に併設された雑誌閲覧室に展示されています。現在約1,000タイトルの継続購入雑誌が展示され、最新号以外は製本されて閉架書庫内に保存されていますので、利用の際は、カウンター係員に請求して下さい。雑誌は製本・未製本を問わず、一切館外への貸し出しは行ないません。

c. 各大学・研究所からの紀要類は、各機関に於ける研究論文や業績などが掲載されていますが、これは最新号・バックナンバー共に閉架書庫に納められていますので、利用の際はカウンター係員に請求して下さい。

d. 新聞については、本学図書館では、前日の夕刊、当日の朝刊を3階ロビーに展示しています。

また、各都道府県の代表的な地方新聞も購入し、同じく3階ロビーに備え付けており、自由に閲覧出来るようになっています。

主な全国誌、英字新聞は下記のものです。

全国誌：朝日、毎日、読売、サンケイ、
日本経済、日刊工業、日経流通、
日経産業新聞

英字新聞：Asahi Evening News,
Mainichi Daily News,
Japan Times.

新聞本誌は、3ヵ月間に限り保存し、以後は廃棄処分されます。但し、朝日、毎日、読売、日経の各誌は縮刷版を継続購入していますので、古い新聞の閲覧を希望される方は縮刷版をご利用下さい。

e. 特殊資料として、貴重書、レコード・テープ等の視聴覚資料、マイクロフィルム等を収集保存しています。これらの中、貴重品の閲覧には、図書館長の許可が必要です。

他の資料は、カウンターへ請求して利用することが出来ます。但し、貴重書・マイクロフィルムは、館外への貸し出しは出来ません。

4. 図書の探し方

本学図書館に所蔵されている図書の中から、皆さん方が必要とする図書を捜すには、目録を用いて捜すのが最も効果的です。目録には、カード目録と冊子体目録があります。カード目録は、書名から捜す書名目録、著者名から捜す著者名目録、主題分野から捜す、分類目録の三つがあります。

和書・洋書ともにカード目録があり、和書については3階閲覧室に、洋書については4階閲覧室に備え付けられています。但し、和書に関しては、昭和58年6月以降の新規整理図書に対してのカード目録は作成されておらず、冊子体目録として刊行されているので、和書に関しては、カード目録と冊子体目録を併用する必要があります。

それぞれの目録の編集は、次のようになっています。

a. 書名カード目録

書名をへボン式ローマ字に翻字して、それを綴りのアルファベット順に配列したもので、捜そうとする図書の書名が分かっている時には、このカードの目録を用いて、本学図書館での所蔵の有無を、また所蔵している場合には、その図書の著者名、出版者、出版年などの書誌事項と図書を請求する時に必要な請求記号を知る事が出来ます。

b. 著者名カードの目録

著者名をへボン式ローマ字に翻字し、それを綴りのアルファベット順に配列しています。従って特定の著者の著作を捜す時には、このカード目録を用いて、その著者の著作の所蔵の有無を、また所蔵している場合には、その書名、出版者、出版年などの書誌事項と、その図書を請求する時に必要な請求記号を知る事が出来ます。

c. 分類カード目録

本学図書館では、和書・洋書ともに、日本十進分類法（NDC）新訂7版によって図書を分類整理しています。

分類目録は、このNDCによって分類された図書を、その分類番号の若いものから順に配列しています。従って、特定分類の図書を捜す場合には、その分野を表わすNDC番号のところを検索すれば、その分野に関する図書を通覧する事が出来ます。

d. 冊子体目録

冊子体目録は、本篇と索引とから成り、本篇の方では収録した図書を、c. で述べた分類目録と同様に、NDCの分類番号順に記載しています。

特定分野の図書を捜す時には、カード目録よりも、一覧性に優れています。

また、索引が付いていて、書名からも著者名からも捜す事が出来るようになってきます。

5. NDC十進分類法について

ここで、皆さん方に馴染みのないNDCの分類体系について簡単に説明しておきましょう。

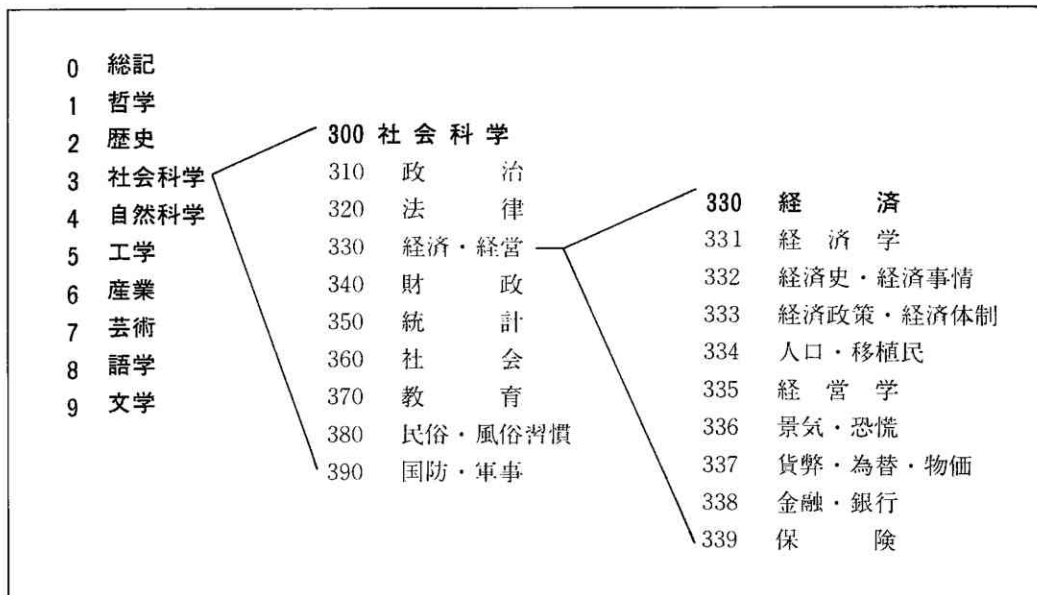
このNDC十進分類法を理解することが、図書館資料を有効に利用する最も強い武器となります。

NDC(Nippon Decimal Classification)日本十進分類法は、特定の主題をもつ図書・資料を、9つのジャンルに分け、1から9までの数字で表わしたものです。

即ち、1 哲学、2 歴史、3 社会科学、4 自然科学、5 工学、6 産業、7 芸術、8 語学、9 文学とし、その他に百科事典や総合雑誌のように、あらゆる事項を取扱ったもので、上記の9つのどれにも属しない、または総てを含んだ図書・資料に対し0(ゼロ)を与え、「総記」としてトップにおき、全体を10のジャンルに分かっています。

更に、各ジャンルを、それぞれ10区分し、それを更にまた細かく10区分するというように、十進方式で展開しています。(図-I)

図-I



000 総 記

- 010 図 書 館
- 020 図書、書誌学
- 030 百 科 事 典
- 040 一般論文集・講演集、雑書
- 050 逐次刊行物
- 060 学会、博物館
- 070 新聞、ジャーナリズム
- 080 双書、全集
- 090

100 哲 学

- 110 哲学各論
- 120 東洋思想
- 130 西洋哲学
- 140 心 理 学
- 150 倫 理 学
- 160 宗 教
- 170 神 道
- 180 仏 教
- 190 キリスト教

200 歴 史

- 210 日 本
- 220 ア ジ ア
- 230 ヨーロッパ
- 240 アフリカ
- 250 北アメリカ
- 260 南アメリカ
- 270 オセアニア
- 280 伝 記
- 290 地 理

300 社会科学

- 310 政 治
- 320 法 律
- 330 経 済
- 340 財 政
- 350 統 計
- 360 社会学、社会問題
- 370 教 育
- 380 風俗習慣、民俗学
- 390 国防、軍事

400 自然科学

- 410 数 学
- 420 物 理 学
- 430 化 学
- 440 天 文 学
- 450 地 学
- 460 生物学、博物学
- 470 植 物 学
- 480 動 物 学
- 490 医学、薬学

500 工学、技術

- 510 土 木 工 学
- 520 建 築 学
- 530 機 械 工 学
- 540 電 気 工 学
- 550 海 事 工 学
- 560 採 鉱 冶 金 学
- 570 化 学 工 業
- 580 製 造 工 業
- 590 家 事

600 産 業

- 610 農業、農学
- 620 園芸、造園
- 630 蚕 糸 業
- 640 畜産業、獣医学
- 650 林 業
- 660 水 産 業
- 670 商 業
- 680 交 通
- 690 通 信

700 芸 術

- 710 彫 刻
- 720 絵画、書道
- 730 版 画
- 740 写真術、印刷
- 750 工 芸
- 760 音楽、舞踊
- 770 演劇、映画
- 780 体育、スポーツ
- 790 諸芸、娯楽

800 語 学

- 810 日 本 語
- 820 中国語、東洋諸語
- 830 英 語
- 840 ドイツ語
- 850 フランス語
- 860 スペイン語
- 870 イタリア語
- 880 ロシア語
- 890 その他諸国語

900 文 学

- 910 日 本 文 学
- 920 中国文学、東洋文学
- 930 英 米 文 学
- 940 ドイツ文学
- 950 フランス文学
- 960 スペイン文学
- 970 イタリア文学
- 980 ロシア文学
- 990 その他諸国文学

(A)
分類細目表

日本十進分類法 158

366 労働および労働問題 Labor and laboring classes [→: 331.81; 336.4]

.02 歴史および事情 [地理区分]

.03 参考図書 (書誌, 辞典, 便覧)

.04 論集, 評論, 随筆, 雑記

.05 逐次刊行物 (雑誌, 紀要)

.059 統計書, 年鑑 [地理区分]

.06 学会, 団体, 会議

.07 研究・指導法

.08 双書, 講座, 図集

.1 労働政策および行政, 労働法

.11 労働政策 [→: 364]

.12 労働行政 (官庁), 国際労働機関 [労働委員会→366.67]

.14 労働法, 労働権, 団結権, 争議権, 不当労働行為, 労働協約

.15 労働基準法 (工場法)

.16 労働組合法

.17 労働関係調整法 (公労法, 地労法)

.18 労働判例 [労働刑法→326.86]

.19 外国の労働法 [地理区分]

.2 雇用および失業 Employment and unemployment [地理区分]

労働力, 就業人口, 労働市場, 労働異動

.29 職業 (分類, 指導, 訓練), 職業安定 (紹介), 就職

.3 労働者保護

.35 婦人および年少者労働

[.36 労働者災害補償→364.5]

.38 福利施設, 福利厚生

.4 賃金および労働条件 Wages, Working condition

.41 労働契約 [→: 324.527]

.42 賃金, 賃金体系と形態, 賃金問題 [→: 331.856]

能率給と生活給, 職階給, 奨励給, 時間給, 出来高給, 遅給制

.44 最低賃金制度

.45 手当 (家族手当, 地域手当, 扶養手当), 賞与 (期末手当)

.46 退職金, 退職積立金, 年金, 停年制

.47 労働時間, 休憩, 休日, 有給休暇, 帰休制度

.48 就業規則

.5 労使関係, 労資協調 (産業民主主義) Industrial relations [労働生産性→331.81; 336.61]

(B)
相 関 索 引

Shate-Shugyo 日本十進分類法 650

商店照明	545.66	集団安全保障 (国際法)	329.48
商店装飾	673.38	集団犯罪	326.36
所得 (経済学)	331.85	集団住宅 (建築)	527.8
国民	331.86	集団活動 (教育)	375.18
所得税	345.3	集団給食	498.84
聖徳太子	210.33	学校	374.94
初等教育	376.2	集団農場	611.76
衝突論 (力学)	423.1	集団社会学	361.4
ショー・ウィンドー	673.38	集団心理学	361.5
昭和文学	910.26	集電靴 (電気鉄道)	546.62
昭和時代 (日本史)	210.7	集電装置 (電気鉄道)	546.6
小惑星	445.4	修道院	195.8
笑話集 (日本文学)	913.7	◎ (カトリック教)	198.25
初夜権 (民俗学)	384.7	周易	123.1
生薬, 生薬学	499.8	収益税	345.4
賞与	366.45	主婦 (家庭問題)	367.3
商用文, 商用作文	670.9	◎ (民俗学)	384.4
商用語学	670.9	修学旅行	374.46
醬油	588.6	就学前の教育	376.1
所有権 (民法)	324.23	手芸	594
肖像画 (洋画)	724.358	◎ (学習指導)	375.5
肖像集	28△.038	手芸図案	594.1
装束 (有職故実)	210.098	種芸学 (林業)	653.1
Shu		修験道	188.59
周 (中国史)	222.033	種原論 (生物学)	467.5
種馬	645.22	衆議院	314.14
酒母	588.524	衆議院議員	314.18
種苗 (農業)	615.2	衆議院議事録	314.145
◎ (林業)	653.2	集合論 (数学)	415.1
◎ (水産養殖)	663.11	守護制度 (法制史)	322.14
収着 (化学)	431.87	◎ (日本史)	210.4
種畜	642	修行解脱論 (インド哲学)	129.15
主知主義 (文学)	902.02	就業人口	366.2
主題歌	767.8	就業規則	366.48
集団安全保障 (外交)	319.8	集魚灯	665.35

分類目録カード

366.48 就業規則と労働協約 秋田成就著 新版
A 37 東京 日本労働協会 1981.3
266p 19cm (テキスト双書 58)
参考文献: p259~261
1000円 JP81-24280
法学部 1. シュウギョウ キンク ト ロウドウ キョウヤク 2. テキスト ソウシ
= a1. アキタ, ジョウジュ a1. 就業規則 a2. 労働協約 ◎366.33
和269008
1982. 2. 15
近大生協
1983. 9

求める特定主題・事項の分類番号を調べるには、NDCの分類表と相関索引を用います。

(図-Ⅱ、Ⅲ参照)

分類表を用いる場合は、図-Ⅱの主綱表で見当をつけてから、分類細目表を、調べるのが効率的です。主題の分類番号が分からない時は、図-Ⅲの相関索引を用いると便利です。相関索引は各主題を表わす言葉を、訓令式ローマ字に翻字し、その綴りをアルファベット順に配列したものです。求める主題が言葉で捜せるシステムになっています。

6. 目録カードの見方

本学図書館の蔵書は、3-aで既に述べたように開架図書と、閉架図書に分かれています。分類カード目録を見た時に、図-Ⅳの例のようにカード上に「閉架」と印のあるものは閉架図書ですから、3階・4階の開架式書架上には、配架されていません。

閲覧・貸出を希望する際は、カウンターの係員に所定の用紙に記入して請求して下さい。(但し、洋書の場合は総て閉架図書となっています。)

勿論、開架図書であれば、3階・4階の書架上から直接自由に手に取って見る事が出来ます。

目録カードの記載は下記のようになっています。

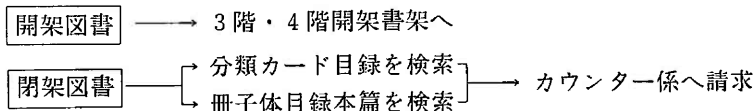
図-Ⅳ

閉 架	
① 911.122 Ki74	⑤ 柿本人麻呂論 ⑥ 北山茂夫著 ⑦ 東京 岩波書店 1983.5 ⑧ 346 p 19cm 柿本人麻呂年譜： p 339～341 2100円
② 図書館	1.カキノモト ヒトマロ ロン a1.キタヤマ,シゲオ s1.カキノモト,ヒトマロ
③ 和291944	
④ 1983.10.4 大学堂	97 J P 83-38797 ⑨911.122
	841017918

- ① 請求記号 ② 備付名 ③ 原簿番号 ④ 受入年月日 ⑤ 書名 ⑥ 著者名 ⑦ 出版事項
⑧ 対照事項

7. 図書の捜し方のまとめ

① 図書の主題が分かっている場合



② 図書の書名・著者が分かっている場合



8. おわりに

本学の中央図書館には、有効に利用される為の多くの資料が所蔵されています。皆様方利用者の利用によって始めて生きる資料です。

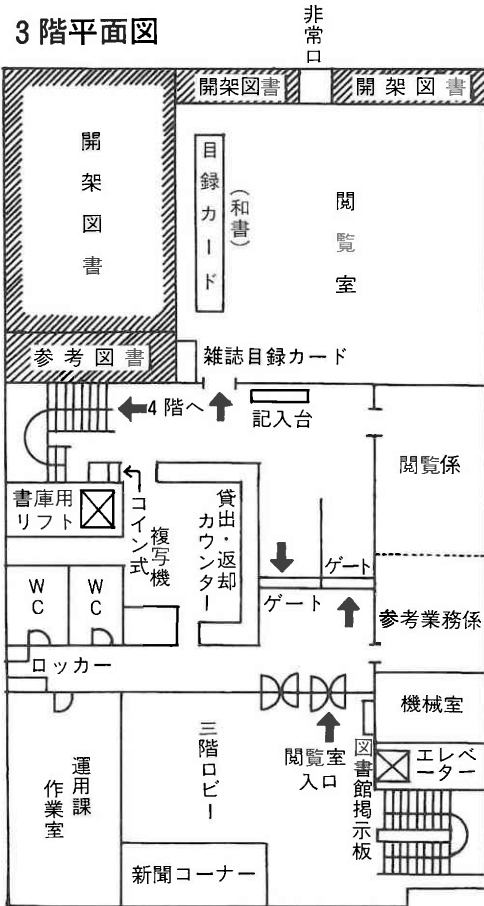
図書館の利用法をマスターして大いに利用して下さい。

貸出の手続等については「図書館利用案内」の冊子がありますので、こちらを参照して下さい。

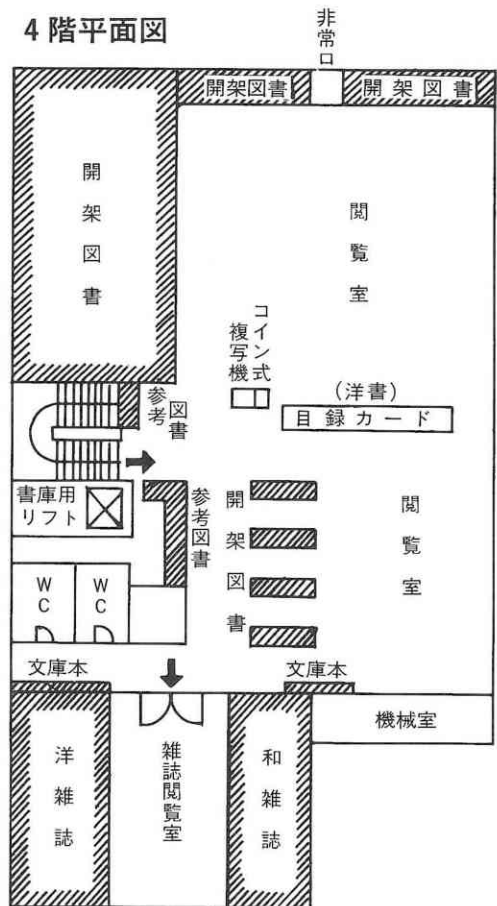
また、より詳しい文献資料の探し方を知りたい方の為に「文献資料探索マニュアル」を発行しております。無料で配布しておりますので、必要な方は参考業務係へ請求して下さい。

その他、図書館の利用についての不明な点や疑問に感じた事等がありましたら、どうか気軽に、カウンター係か参考業務係へご相談下さい。

閲覧室の見取図



自然科学・工学・技術・産業・
芸術・語学・文学・参考図書



総記・哲学・歴史・社会科学・
雑誌・新書・文庫本・参考図書